

連絡協議会が主催。愛知教育大の後藤ひとみ学長があいさつし「よい先生に出会うと、児童、生徒の人生が大きく変わる。教諭という仕事をの魅力を知つてほしい」と話した。

その後、来年から教諭になる大学生三人が発表。北名古屋市の名古屋女子大四年小川愛美さん(二二)は、小学生のとき、顔真写を見て、その日の調子を聞いてくれた恩師に憧れ、教諭を志した。「いつでも児童の声に耳を傾け、学校を楽しいと思うきっかけになれる先生になりたい」と目指す教諭像なりたい」と目指す教諭像を語った。

中日新聞社の小出宣昭主筆の特別講演もあり、「学問とは『学び』『問い合わせ』こと。事実を覚えるだけでなく、歴史の意味を考えることを教えてあげてほしい」とエールを送った。

参加した愛知教育大付属高校三年の石原命さん(二二)は「年が近い先輩たちの思いが聴け、教員になりたいという思いが強くなつた」と話した。



### 学生志す教師像 高校生らに紹介

#### 名古屋でフェスタ

「高校生とともに教師の魅力を考えるフェスター」(一〇一八)が十六日、名古屋市北区の愛知学院大名城公園キャンパスで開かれた。教員を目指す高校生ら約七十人が参加した。

愛知教育大が発案し、愛知教員養成コンソーシアム